

平成20年度版  
安全報告書



平成21年9月  
大井川鐵道株式会社

## 1. 利用者の皆様へ

日頃は、大井川鐵道をご利用いただきましてありがとうございます。

また当社の事業に対して、ご理解とご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。

当社は、昭和2年の開業以来、安全を第一に考え、法令順守のもと輸送の安全確保に全社員が一丸となり取り組んでおります。

また、国、静岡県、沿線自治体（島田市、旧川根町、川根本町）からの財政支援を受けて、平成16年度より取り組んでまいりました「緊急保全整備事業」も平成20年度をもって終了し、安全運行の基盤が出来上がりました。21年度からも引続き、関係各署のご協力をいただきながら、安全性の向上を目指してまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、各事業年度における輸送の安全確保のための取り組みや実態について公表するものです。

ご一読いただき、当社の取り組みに対するご意見やご助言を頂ければ幸いです。

大井川鐵道株式会社

代表取締役社長 **伊藤 優**

## 2. 基本方針と安全目標

### 1 基本方針

当社は、安全第一の意識をもって輸送の安全を確保するための管理の方針その他事業活動に関する基本的な方針を定め、安全の確保に関する業務の実施状況等を踏まえ、必要に応じ見直します。

なお、次のように「行動規範」を掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に努めます。

### 2 安全目標

「鉄道運転事故ゼロ」の継続

## 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

### 1 鉄道運転事故

平成20年度は、鉄道運転事故は発生しておりません。

なお、過去3年間の鉄道運転事故の発生件数と死傷者数の推移は次のとおりです。

年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
事故件数	0	0	0
死 傷 者	0	0	0
内死亡者	0	0	0

## 2 災害（土砂崩落）

平成18年7月の豪雨により発生した井川線川根両国～沢間駅間の土砂崩落による災害では、利用者の皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。復旧本工事が平成20年10月18日に完了いたしました。



川根両国～沢間駅間 工事完了

## 3 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

平成20年度は、設備故障が1件、倒木等自然災害が4件、車両故障が6件、その他2件、合計13件の輸送障害が発生しました。

今後とも設備、車両の点検強化・線路巡視の強化・法面の点検および計画的な危険木の除去を行なって、安全運行に努めてまいります。

## 4 インシデント（事故の兆候）

平成20年度は、信号冒進1件、列車分離1件が発生しました。それぞれに対して再発防止対策を徹底することにより、事故の防止に努めてまいります。

### （1）信号冒進

発生日時	平成20年10月18日(土) 8時00分頃
発生状況	金谷発千頭行下り普通列車が、駿河徳山駅構内に進入する際、運転士が場内信号機の停止信号現示を見落とし、列車が場内信号機の内方へ進入した。
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・乗務員に対して基本動作の重要性についての再教育の実施</li><li>・運転管理者等による添乗指導の強化</li><li>・各種規程類を用いた勉強会の実施</li></ul>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・乗務前の運転士に対して指差確認喚呼方の指導を実施しました。</li><li>・運転管理者が全ての運転士について添乗指導を実施しました。</li><li>・「職場内教育及び訓練実施計画」に基づき、教育訓練を実施するとともにその中で、基本動作の重要性を確認しました。</li></ul>

## (2) 列車分離

発生日時	平成20年10月19日(日) 12時30分頃
発生状況	金谷発千頭行きSL急行列車(列車編成:最前位よりSL+EL+PC7両)が17k750m付近を走行中、SLとEL間の連結器が開放状態となり、列車が分離した。各車両は制動管の急減圧により非常制動が動作して停止した。
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・全ての機関車について、連結器の状態を目視確認できるように連結器錠揚部に着色。</li><li>・電気機関車を使用する場合は、発車前、途中駅において連結器の状態を確認。</li><li>・他の機関車を含め、車両検査時には分解検査を行い、部品の状態を確認。</li></ul>
取組状況	当該事象が発生後、直ちに連結器を交替するとともに以下の取組を実施しています。 <ul style="list-style-type: none"><li>・発車駅、途中駅において連結器の状態を確認しています。</li><li>・全般、重要部検査時に機関車の分解点検を実施しています。</li></ul>

## 5 行政指導等

平成20年11月17日～19日の間、国土交通省中部運輸局の運輸安全マネジメント評価及び保安監査が実施されました。

### (1) 運輸安全マネジメント評価

経営トップの安全優先を意識した職場風土の構築に取り組んでいること。  
安全に関する取組み強化のため安全管理規程改正などに取り組んでいること。

との評価をいただく一方

経営トップのコミットメントの継続  
安全管理体制に係る内部監査の仕組みの構築  
内部監査等を活用した安全管理体制の見直し及び改善の方法の確立

について、更なる取組みを期待するとの所見がありました。

### (2) 保安監査結果に基づく改善措置事項

鉄道事業法に基づく手続きがなされていない工事が認められた。  
実施基準に基づき整備すべき鉄道施設において、保全がされていない施設が認められた。  
鉄道係員の教育訓練の充実を図るとともに、運転係員の資質の維持・管理の状況を適切に把握すること。

については、直ちに提出いたしました。

については、施設整備計画を策定し現在実施しております。

については、年間教育計画を策定し、確実に教育訓練を実施するとともに、資質管理につきましても当社基準等に従って実施するとともに、実施した結果を記録し、管理者が確認しております。

## 4. 輸送の安全確保のための取組み

### 重点安全施策

輸送の安全確保のために、下記の安全対策を実施しました。

#### 1 緊急保全整備事業等の実施

(大井川本線)

レールの重軌条化 (L = 1,212m)

PCマクラギ化 (1,414本)

道床更換 (L = 1,183m)

橋梁の改修 (13箇所)

トンネルの改修 (5箇所)

擁壁の補修 (3箇所)

変電所の改修 (1箇所)

ATSの設置【駅】(2駅)



五和～神尾駅間(8k800M)工事完了

(井川線)

ATSの設置【車両】(6両)

【駅】(9駅)

トンネルの補強 (1箇所)

マクラギ交換 (1,725本)

レール交換 (1,590m)

分岐器交換 (3基)



千頭駅構内の地上子設置状況(井川線)

#### 2 経営幹部による職場巡視

平成20年10月23日に社長以下経営幹部が職場を視察し、点呼の実施状況等の確認を行うと共に、職員との意見交換を行い、安全管理実施状況を確認しました。また、12月25日には、年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施に伴い、再度各職場を視察し、安全確保の徹底について注意喚起を行いました。

### 3 鉄道管理会議の実施

毎月1回、運輸部門（各現場長を含む）・営業部門合同による作業計画、営業計画の確認を行い、相互の連携を図っています。

特に繁忙期の前、イベントの計画時には輸送の安全に留意し、綿密に打合せを行っております。

### 4 安全教育

- ・平成20年9月3日に東海地震注意情報が発せられたことを想定し、当社独自の情報伝達訓練を行ないました。
- ・鉄道全職場を対象に、平成21年2月19日に「テロ対応マニュアル」、「運転事故処理手続」、「運転事故報告手続」の各規程類を使用して勉強会を開催しました。また、乗務区員、駅操車係員、車両区員を対象に密着連結器と自動連結器の連結に用いる連結アダプタの取扱い訓練を行いました。
- ・1年間を通して教導運転士以上の者による列車添乗指導、代用閉そく実施訓練及び入換作業方指導等の運転に係る教育訓練を実施しました。

今後も継続して「教育及び訓練計画」に従って各種教育並びに訓練を実施し、安全管理体制の強化に努めてまいります。



各種規程類を使用した勉強会



連結アダプタの取扱い訓練

### 5 緊急時対応訓練

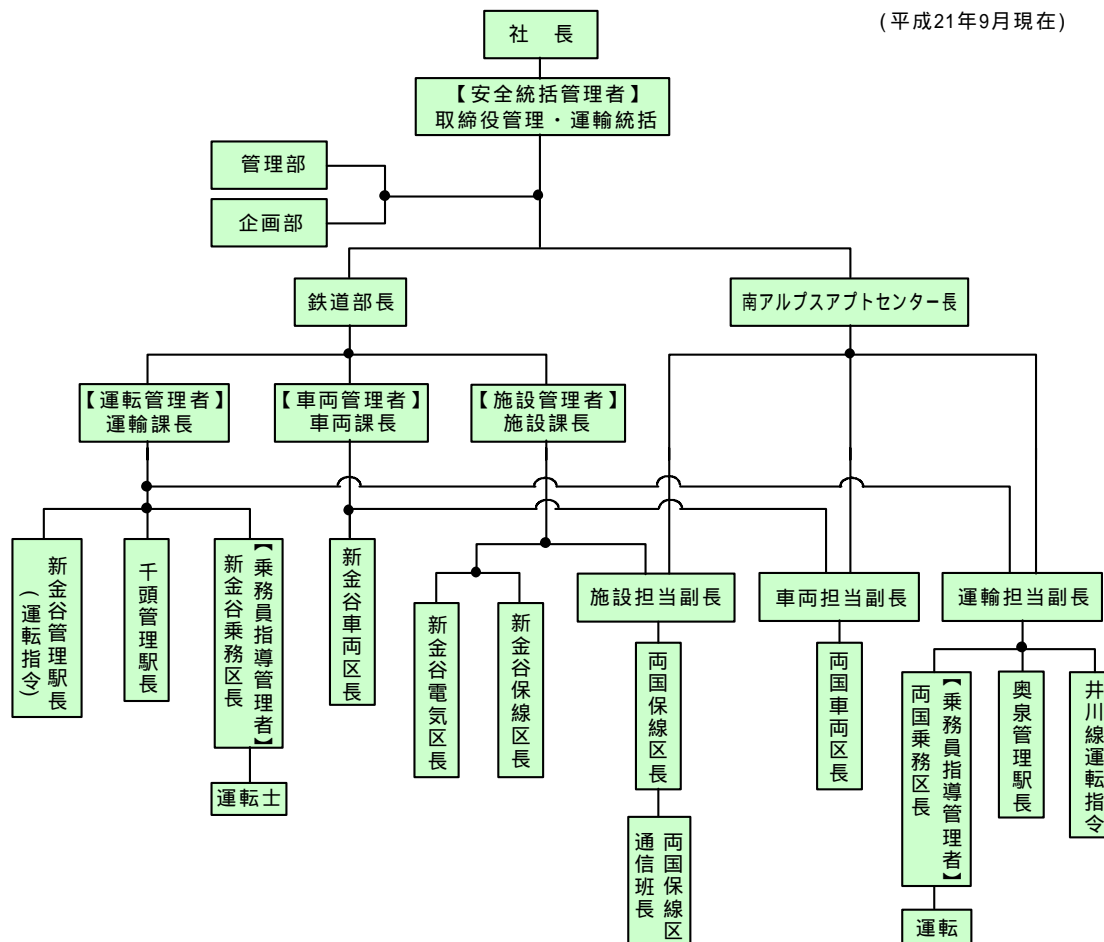
平成21年1月3日に非常時連絡網による緊急時の呼出訓練並びに伝達訓練を実施しました。

### 6 安全のための投資

20年度の施設・車両などへの設備改善投資額545百万円のうち、安全関連設備投資額は544百万円でした。

## 5. 当社の安全管理体制

平成18年10月に安全管理規程を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で各管理者それぞれの責務を明確にし、安全確保のための役割を担っています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
取締役管理・運輸統括 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運輸課長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮下、運転に関する事項を統括する。
新金谷乗務区長および 両国乗務区長 (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、所属する乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
施設課長 (施設管理者)	安全統括管理者の指揮の下、土木施設および電気施設に関する事項を統括する。
車両課長 (車両管理者)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

## 6. 沿線の皆様へのお願い

### 1 踏切事故防止について

平成20年9月26日、交通安全運動の一環として、踏切を通行するドライバーや歩行者に対し安全確認の協力を呼びかけポケットティッシュの配布を行いました。

万が一車が踏切内に閉じ込められた時は、車で遮断竿を押して脱出してください。



また、踏切およびその付近で異常を発見した場合、お手数ですが警報機に取付けてあります。緊急連絡先(大井川鐵道鉄道部 TEL0547-45-4113)まで、ご連絡下さいますようお願いいたします。



### 2 夜間作業のお願いについて

鉄道工事は、安全を確保するために夜間作業となることがあります。沿線の皆様にはご迷惑をおかけすることもあります。可能な限り静かに短期間に行うよう努めてまいります。何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒428 - 8503

静岡県島田市金谷東2丁目1112の2

大井川鐵道(株)鉄道部

TEL 0547 - 45 - 4113      FAX 0547 - 45 - 4115

E - mail [unyu@oigawa-railway.co.jp](mailto:unyu@oigawa-railway.co.jp)

月～金 9:00～17:00 (年末年始を除く)